

# 心臓病予防は食生活改善から

## 「ハートの日」 豊橋でイベント 無料検診や講演会で啓発

心臓病を予防して健康ライフを—という第12回ハートの日—同実行委員会(豊橋ハートセンター内)主催、日

本心臓財団など共催、今年「心臓病と糖

尿病の食事」をテーマに、専門医や救命士ら多数が参加。多彩なイベントを展開し、心臓病一掃活動に取り組んだ。午前中のハート無料健診(体脂肪率測定、血圧測定、血液検査、心電図検査など)には、開場前から行列が。また専門医の心臓病相談、歯科医の歯周病相談などにも利用者が集まった。

り、美しい歌声を堪能した。午後からのハート講演・座談会第一部で、医療ジャーナリスト・丸山寛之氏は、「忘れえぬ医師・患者夫婦の物語」を、花粉症抗

長が座長で、江部康二・高雄病院理事長の講演が。鈴木院長は「今年は震災を考え恒例イベントを中止しようと思ったが、皆が元気になるため実行した」と。江部理事長は、「病気の改善や健康維持に食事は最重要課題」とし、糖尿病になった自らの体験を基に考えた献立や、その効果など話した。

だ。午前中のハート無料健診(体脂肪率測定、血圧測定、血液検査、心電図検査など)には、開場前から行列が。また専門医の心臓病相談、歯科医の歯周病相談などにも利用者が集まった。

体を発見し、世界学会で発表。ノーベル賞候補と言われた日本人医学者が、病気で倒れた共同研究者の夫人介助のため、研究所を退任。感動の夫婦愛を紹介した。

第3部は江部理事長、鈴木院長、同病院友の会・宗田理会長、丸山ジャーナリストの4人がパネリストで座談会を。それぞれの立場から病気と健康について語り合った。

昼休みには、豊橋少年少女合唱団によるハートコンサートがあった。専門医らの健康講演、座談会など盛況のハートイベント—ホテル日

第2部は鈴木孝彦院長、鈴木院長、同病院友の会・宗田理会長、丸山ジャーナリストの4人がパネリストで座談会を。それぞれの立場から病気と健康について語り合った。

各コーナーでは、食事・栄養相談。救急蘇生法講習会、献血、関係書籍の展示・即売、健康食品の展示・即売もありにぎわった。

航豊橋で

第2部は鈴木孝彦院長

(星野のりこ)

